

被災された皆様へ心からのお見舞いを申し上げます  
一日も早い復興をお祈り致します

## 東日本大震災に関する支援事例の報告

### ～～岩手県沿岸地域で被災された方々に対する 地元段ボール製造企業の きめ細かな支援事例を紹介します～～

東日本大震災の惨状を前にして、被災者の方々に何か役に立つことが出来ないかとの鎌田段ボール工業(株) 鎌田社長の温かくそして強い思いが、具体的に実現されました。同社の支援プロジェクトチームは、日夜、被災地の避難所等を訪問し、被災者のニーズを確認しながら、きめ細かな支援活動を展開しました。

同社の支援活動は、フジテレビ FNN スーパーニュースでも報道されました。

以下、同社から伺った支援活動の様子を支援事例として紹介します。

平成23年6月 東日本段ボール工業組合（東段工）

#### 1. 鎌田段ボール工業(株)の支援活動

##### (1) 鎌田社長の温かく強い思いとニーズに合った支援の実施：

かつて経験したことのない大地震と大津波。着の身着のまま体育館などに避難された方々の姿を見たとき、鎌田社長は、内陸部の会社として何か役立つことができなかと模索しました。

その時、同社長の脳裏をよぎったのは新潟中越地震の被災者の映像でした。避難所で使われていたのは段ボールの間仕切り(パーティション)でした。落ち着いて眠ることの出来る、しかも、コミュニケーションもとれる、そのようなスペースを、ここでも創ってあげたいと考えました。

さっそく社内にプロジェクトチームを作り、試作を開始。その間仕切りの高さも孤立感のない130cmくらいが良いのではないかなど、又、素材もリサイクル可能な段ボール100%使用して改良をくり返しました。

さらに、同社長は、厳しい避難生活を続ける方々の「生の声」を聞いて、ニーズに合ったきめ細かな支援を実施することにしました。同社プロジェクトチームを被災地へ何度も派遣して意見を聞いた結果、被災された方々のニーズは、間仕切り以外にも、日常生活に最低限必要な収納箱（衣類用など）、書類箱、椅子、ベッド、テーブルなどにもあることを確認しましたので、さっそく自社工場で製作し届けることにしました。

##### (2) 支援の内容（段ボール製品）：

- ①5月初旬、第1回目の支援として、大船渡市及び陸前高田市に、段ボール製救援物資 計833点を届けました。
- ②その後も、沿岸部の避難所のニーズに応え、間仕切り、収納箱、書類箱、テーブル、椅子、簡易ベッドなどの段ボール製品 計2,610点を届けました。
- ③第1回目以来現在までの支援物資点数は、合計 3,443点になります。

## 2. 鎌田段ボール工業㈱の活動（概要）

岩手県内各地64か所の大小様々な避難所等をきめ細かく何度も訪問し、避難生活に必要な生活物資及び必要数を被災された皆様に直接確認のうえ、岩手県奥州市の自社工場ですばやく製造し各避難所に届けました。

- (1) 訪問避難所数 : 64か所
- (2) 避難所の所在地 : 大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市
- (3) 各避難所の収容規模 : 12人～650人
- (4) 支援物資の点数 : 3,443点
- (5) 支援物資の種類 : 段ボール製品8種類（書類箱、衣類等収納箱、間仕切り、更衣室、テーブル、椅子、簡易ベッド、その他）



(以上)